

# 道 標

(みちしるべ)

第 264 号

平成 23 年 6 月 21 日  
校長 稲垣 達也

## 「金子みすゞ」の世界

朝会で紹介した 金子みすゞ さんの童謡詩を 3 遍ご紹介します。

大漁

朝焼け小焼だ 大漁だ  
大羽鰯いわしの 大漁だ。

浜は祭りの ようだけど  
海のなかでは 何万の  
鰯のとおりい あるだらう

にじいろ

おかあさまは  
おとなで大きいけれど、  
おかあさまの  
おこじいろはういさい。

つもつた雪  
上の雪  
さむかるな。  
つめたい月がさしていて。

下の雪

重かうな。

だつて、おかあさまはいいました、  
ちいさいわたしでいっぱいだつて。

中の雪

さみしかうな。

じべた  
空も地面もみえないで。

つもつた雪

わたしがさびしいときには、  
よその人は知らない。  
わたしがさびしいときには、  
お友だちはわいりうの。

わたしがさびしいときには、  
お母さんはやさしいの。  
わたしがさびしいときには、  
ほとけさまはさびしいの。

だつて、大きいおかあさまで、  
まだいっぽうにならないで、

いろんなことをおもうから。

